

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化した場合や終末期のあり方について事業所や職員への遠慮から、本人・家族の本心が伝えられにくい。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の職員に対して「してもらっている。」「お世話になっている」という気持ちから、職員にたいして遠慮がちで意見が言いにくい傾向があるので、それを解消出来るような関係作り。 ・日常から、最後は何処で過ごしたいか、どの様に迎えたいかと言うことを、家族や本人から話してもらえれる様な関係作り。 ・職員の終末期・重度化に対する準備のための知識を備える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・面会や家族会・地域推進委員会での取り組み、行事の手伝いなどを通じて、家族に職員をより身近に感じてもらえるようにし、普段の関わりから、遠慮なく意見を汲み取れるような関係作りを行う。そして家族と共に利用者の方々を支えるという考えを伝える。 ・すでに始まっている看取り介護のケースを通じて、勉強会にて一年間通しての研修に取り組んでいく。 	12ヶ月
2	49	個人の希望にあわせて外出を行っているが、重度化に伴い、外出の機会を作ることが困難になってきている。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の協力も得て、今の事業所の状態や、本人の状態を加味した上で任せるところは任せていく。 ・ボランティアの活用も加味していくが、行事などの外出に合せて参加してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニットごとの外出よりも、目的毎の外出を考慮していく。また、個別的な外出や、本当に必要な外出(散髪・買い物)に対して希望を聞き、需要を把握した上で、計画的な外出を模索していく。 ・事業所全体での外出(遠足)などは困難になってきたが、代わりになるような行事(屋内の)を考慮していく。 	3ヶ月
3	53	くつろぐことの出来る、居間としての機能があるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニット仲間との団欒のひと時を持てたり、家族と共に過ごしても居心地が良い空間にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が改善の余地があると思われる場所などを写真にとる。その写真をもとに職員間で改善方法などを話し合う。実際に改善が行なわれた後は、その効果について結果をみる。 	3ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。